磐城日日
発行所 磐城日日新聞社
福島縣石城郡小名浜町搭廻一五一
電話代表三六七番 二一九番
振替仙台31,355番
編集兼発行人 長瀬芳郎

植田町の助役問題 村松氏結局重任か

カギは渡邊町長の腹一つ

植田町助役問題については未だ決定を見ず、話題の人として箱崎一義、渡邊八郎、赤津甚吾氏があげられて居り、又一方よりは現議員森合芳男氏の就任説が流布されている、もし森合氏が助役就任となれば箱崎義一氏が町議に繰上げ當選となることになり助役の椅子を廻つうて微妙な動きを見せているが結局のところ前助役の村松義節氏に落付くものを見る向きも多いが渡邊町長としては斯うした空氣を察知している關係上周圍の状況を顧慮し目下沈默をまもつている

二中建築見通しつく

町の保證で資金調達

暗礁上の小名浜二中建築問題は大波一過、当局の督勵と作山組の決意により第二校舎建築も漸く軌道に乗り、八月夏期休暇中まで、完成の見込みがついた

竣工期日を約一ヶ月遅れた今日漸く過半の竣工狀態で兎角論議の中心となつた二中建築は、遂に議員間の暴力事件まで現出して飛んだ醜体をさらけ出すに至つたが町當局ではいよいよ作山組から家屋と自動車を收受の上、更に百五十万圓の保證を行う事に意見の一致を見たものの如く、近々本會議に計り決定を見る運びとなつた

道路改修を要望す

菊田支局長　熊谷保雄

昨年度最終町議会に於て植田町都市計画の第一歩は植田驛前通りの道路改修にあることとして予算を計上することに決定したことは時宜を得た行爲として敬意を表するものである、由來植田驛は明治二十九年の建築になり常磐線最古の建物であり現在では大驛の油倉庫位の小さなものである、昨年昇降口の石段を擴張した結果乗降者は多少の便宜を得たが驛前は百余坪に過ぎない、バスの三台も停車すれば通行も困難になる有様である

植田驛の建設当時の植田は鮫川村と稱して驛前には点々とした農家が散在し本町通りをなす宿場通りに通ずる曲折した小徑があつたとの事、年をふるに従つて兩側に家屋の増築が今日の商店街を形成したもので甚だ浅い歴史である

然も町政施行後といえども該道路の根本的改修を行つた事がなく年々田舎式の道路修理によつて糊塗し今日に至つている、一度大雨あればたちまち雨水の氾らんは路面に滿ち河中を歩むの感があつた、即ち狭溢な路面は下水路の不備と共にひん繁な車馬の交通に非常な大きな障害を與へている、これが爲め昨年地元有志の諸氏が先導となつて、植田土木監督所の援助のもとに砂利敷を行い雨季に備へたが、これも一時的効果をおさめたに過ぎなかつた、其後產あるものは自ら自宅軒下の下水道を修築したために今の雨季には大した障害も來たさないだろうと思われるが盛夏期に及んで車馬の交通による塵埃の飛散を防ぐことは不可能であると思われる、このため有志相集り散水車を以て日に五回位い散水する事にしたいとの議も起つているときく

前述の通り驛前道路は植田町の繁華街たる本通りの關門であつて又近く六號國道に通ずる唯一の支線でもある、更に想うに植田本町通りは郡内に於て平市に次ぐ「新しい街」の様相を具備して來ている、然も同町は縣立公園指定地内に在り、白砂青松に連なる岩間海岸に望洋はるかに勿來海岸をひかえ突堤の飛まつを眺め得る風光明眉の地であり觀光ホテルの必要を痛感し、建築の計画もありと聞く、云う迄もなく都市美の象徴は其の玄関口にありと云う可く吾々は單に部落根性を發揮して云々するものでない町議諸氏により建築実現の早きを切望して止まないものである

元本社湯本支局員　千葉孝夫

右者は本社員として廣告其他の申込を受ける爲各地を歴訪して居ることを仄聞するも同人は既に五月五日付を以つて退職致し居り本社とは何等關係なし従つて廣告其他の責任は負わざるに付右廣告す

五月二十五日　磐城日日新聞社

小齋所長 平に榮轉

植田土木監督所長小齋要三郎技師は近く平土木監督所長に榮轉するで、後任所長は（未決定）であるが其の間同監督所小泉技師が代理を兼務する尚後任所長は來月上旬頃決定の見込

海區調整委 平で開催

明二十六日午前十時より第十回石城海區漁業調整委員会が平水産事務所で開催される、議題は

▼漁場計畫作成について
▼漁場計画の公聴会開催について
▼縣小型機船底曳網漁業取締規則（案）について
▼漁業界當面の諸問題（過般の全國主務部課長会議の内容の説明及びとれが検討のため縣当局より議題を提示されたもので、今後の基本方針、漁業權の適格性と優先順位小型底曳漁業整備船試案旋網漁業さんま漁業の調整、漁業權證券の資金化其他）につき協議する筈

組合長に長瀬氏

農協で互選会を行う

小名浜農業協同組合では去る二十日二十六年度定期總會を開き役員の改選を行い十三名の新理事及三名の新監事を決定したが昨二十三日午前十時より第一回理事會を同組合会議室で開催組合長及副組合長の互選會を行い選擧の結果滿場一致前組合長長瀬誠明氏再選、副組合長には村上重一氏と正副共舊幹部くつわを並べて当選した

泉農協組 通常總會

泉村農業協同組合の第三回通常總会は來る二十七日午前九時より泉小学校講堂に於て開催、次の事項について協議する

提出議案

一、昭和二十五年度業務報告書承認について
二、昭和二十六年度事業收支予定計畫設定について
三、本組合定款變更承認について
四、經費の賦課及徴收方法決定について
五、貸付金最高限度決定について
六、貸付金利率最高限度決定について
七、借入金最高限度決定について
八、役員報酬額決定について
九、餘裕金預入先銀行決定について
一〇、縣連合會統合に就て
一一、理事、監事選擧

水素の株主總會

必勝を期す荘野派

日本水素KKの定例株主總会は本二十五日午前十時同社会議室にて開催される、三月下旬日野原一派の會社乗取りの策謀が公開されて以來所謂日野原旋風として町の話題を賑わしたが最近日野原が鳴を潜めているので本總会も事なく推移するものと認められるが現在同社株券總数は百二十万株で其内十万株が小数株とし市場に散在し殘る百十萬株中六十二万株は現社長に白紙委任狀を呈出して居り日野原系と見られる數を占めるので荘野側は必勝の態勢を持している模様である

植田小学校 PTA総會

去る二十三日植田小学校PTAでは春季總會を開催し昭和二十六年度予算三十一万三千九百九十五圓を計上滿場一致可決、次いで役員の改選を行つた結果會長に成瀬巳三副会長に半谷英二、下山田勇、緑川ヨネ氏等が当選した

石城療術師會 春期總會開催

石城療術師会では二十三日午前十時より平市舊城跡衆樂園に於て春季總会を開催次の件を協議した

一、全國療術協同組合總会の報告
二、昭和二十五年度事業報告
三、仝二十五年度会計報告
四、仝二十六年度予算の件
五、組合業者強化の件
六、講習会運營の件、七月より毎月講習会を開くこと
七、役員改選の件

次いで役員改選に入り次の諸氏が当選した

会長 再選 佐々吉央
副会長（平）安島八郎
（泉）遠藤須臣
會計（平）増澤季四郎
庶務（平）星光榮

各方部の監事は会長に一任し總会を終了した、なお平保健所より猪狩係官出張し療術師の今後のありかたに付き種々説明があつた

失業者就労對策

長瀬助役職安所長に懇請

小名浜における失業登錄者は二百二十名にのぼりその内中学校敷地、その他縣道改修工事に就業している物が七十名で尚百五十名の登錄失業者があぶれているが、小名浜町長瀬助役は同件につき佐藤平職安所長と会見、縣下で随一の悪條件にあるところから、更に五十名位の就業ワク増大方を考慮されるよう懇請した

植田土監所 見事優勝す

植田、平、富岡の各土木監督所及平戰災復興事務所及各官廳對抗春季野球大會浜通り予選會は去る二十日双葉郡富岡小學校グランドに於て擧行した植田土木監督所は決勝戰に於いて富岡土木監督所を七對一にて一蹴優勝の榮冠を獲得して浜通りの土木監督所代表に決定し來る六月三日白河市營球場に於て行われる縣大会に出場することになつた

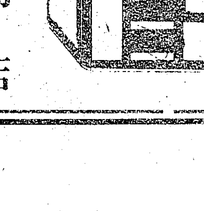
魚菜市況 24

【小名浜中央青果市場】大根五〇~七六、葉玉ねぎ一〇~三〇、玉ねぎ六〇~六五、きやべつ四五~六五、さつまいも六六~七一、ごぼう一八〇、にら（一パ）四~五、かぶ（一パ）四~七【魚市場】水たら三五たこ五〇~八〇、なめた八〇~九〇、きす七五、えび一〇五〇~一〇七〇小えび四〇〇~七〇〇、平目四五〇~五七〇、

内科 小兒科　和田醫院
平市白銀町（駅左）
和田活美
電話一一八七番

良質と技術に定評ある
豊田のネン土瓦 セメント瓦
製造販賣元 茨城縣磯原町豊田（電二二）鈴木繁藏
注文取次所 小名浜町定西（電一〇七）菅原勳商店

コールドパーマ
ウオームパーマ
そよ風に髮うるわしく
本田美容室
小名浜町（新米旅館横丁）

新案特許 東和カマド
珪藻土製品の最高峰!!
驚く程燃料のいらない
火力強大！
保溫絶大！
時間經濟！
簡便重寶！

浜三郡発賣元 榮屋商店
小名浜町古港 電話三番

婦人洋裁師急募!!
待遇その他委細面談
小名浜町本町通り
都服装店
電話五五一番

ご家庭に、職場に
"花万"の花を！
生花材料・華器・種子と苗一切
小名浜町定西（第二小學校前）
花万

開館式を擧行（湯本町）
東北に誇る公民館
町をあげての祝賀多彩

東北一を誇る湯本町公民館は總工費八百五十六万円、設備費二百二十万円で堀井工業が請負い去月二十四日竣工式を擧行した、總二階モルタル塗りで建坪三百十坪の豪壮なものである、新刊圖書二千册の圖書室、收容人員百名の圖書閲覽室、二十疊敷の日本間、二千人を收容し得る堂々たる公会堂である、開館祝賀も町議選によつて日延べになつていたがいよ〳〵本二十五日午前九時より盛大なる式典を擧行することになつた

行事は本日より二十七日までの三日間に亘り町内各種文化團体その他によつて多彩な催しが開催される

行事行程は次の通り

▼二十五日
◎一部（午前九〜正午）祝賀式典擧行
◎二部（午后一〜四時）ブラスバンド（常磐）舞踊と歌（幼稚園）そう曲（杉美会）、歌謡曲（常磐、栗原利喜夫、早坂冷子、先田正一、渡邊二の諸氏）、舞踊（竹松）
◎二部（午后六〜九時）演劇（常磐）

▼二十六日
◎一部（午前九〜正午）謡曲（合同）、遊戯、舞踊、劇（町内各小中学校及びまこと子供会）
◎二部（午后一〜四時）謡曲（合同）、ダンス合唱（湯高）、舞踊（湯本常磐婦人会）
◎三部（午后六〜九時）謡曲（合同）、詩の朗う讀（青カラス）、舞踊（竹松）、演劇初戀（青カラス）

▼二十七日
◎二部（午后一〜四時）藝妓組合總出演
◎三部（午后六〜九時）素人のど自慢コンクール

殺人共犯を逮捕
犯罪の根絶期す小名浜署

小名浜町の殺人事件については犯人赤川は大内が親分の小野一氏を射つた事件で保釋出所して居り再び小野親分を襲撃する氣配が多分にあるので機先を制して單獨にて殺したと背後関係を否認しているが小名浜町署では犯罪の現状及び傷痕等よりみて共犯者ありとして捜査中のところ有力なる證言を得たため二十三日午後十一時頃仝町定西無職佐久昭一（二九）假名を自宅に於て逮捕し、また二十四日午前六時仝町上町三陽カフエーに立寄つた仝町下町四五馬上東二（二四）を共犯容疑者として逮捕した、なお他に一、二名の共犯あるものとみて町署では目下嚴探中である、これにつき鈴木警察署長は次のように語つた

鈴木警察署長談 明朗なる小名浜町の建設にはとうした部類の犯罪を町より一掃せねばならない、犯人の檢擧にあたつても一般町民が警察に対してもつと協力的になつてもらわねば犯罪の根絶を期すことは到底出來ない迴船期を間近にひかえた今日、町の發展を阻害するあらゆる犯罪に對しとの事件を契機として共犯關係を徹底的に洗い將來二度とこうしたいまわしい事件の發生せぬよう万全の策を講ずる決心であり町民諸氏の協力を願う

天氣概況

【本日】南西の風曇り勝ちの天氣ですがおそくなり小雨がパラつくかもしれません

衛生

たで＝たで食う虫も……と言われるたでは滋養的價値は殆んどないが、その代り殺菌力が強烈で魚の毒を消す効能は非常に多い刺身のつまに無くてはならないものとなつているのもその爲である、又この葉を陰干にして煎じて呑めば血液の循環を良くし、暑氣あたりを治しに妙薬と稱されている

小豆＝牛産の癖のある婦人が粉にした小豆を酒に入れて毎日二杯づつ飯事の時常用すれば十ヶ月の安胎を得る事が出來る

にら＝葱のことを「ひともぢ」と言うに對しにらを「ふたもぢ」と言つている、冷性の人、病身で元氣のない人がにらを味噌煮にして食べると精氣を増し身体が非常に温たまる事神藥に近かい、喘息に惱む人でひどくせき込む時、生にらの汁を搾り一合程呑めば自然に止まる、敢えて人間のみでなく魚が弱つているときこの汁を少し呑ますと忽ち蘇生する獸肉の中毒には生にらの汁を呑みナイフなどの怪我傷にはとの汁を塗抹して繃帯しておけば血が止まり傷痕は二、三日で治る

にんにく＝にらと同樣の効能を持つ强壮剤である、球根をよく洗い、生のまゝ味噌をつけて食べる、大人は一日一個、子供は半分の割合でよい、胃腸を強くし精力を増し、食慾のない病人も一週間位で別人の樣に壮健となる、ビタミンの豊富な事他の野菜に其比を見ない

くわい＝くわいを嗜好する人は胃が強く眼が丈夫になる、この実を煎じた汁で眼を洗へば、たゞれ眼はれ眼、角膜炎など種々の眼病を治す大効がある

胡瓜＝胡瓜は悪血を美にし逆上を引き下げる効力を有つ、胡瓜を腐らしその汁に少量の氷砂糖を混ぜそれで顔や手をふく習慣をつければ皮膚光澤を増す、胡瓜は一個の化粧材料である事は注意すべきだ、足の裏の燃ゆるように熱いとき胡瓜のもみ汁をつければ忽ち爽かになる

祝・湯本町公民館 開館 5月25日

祝辭
湯本町長 公民館長 松本久吉

昨年以來工事中の本町公民館の新築なり、本日茲に祝賀落成式典を挙げ得ますことは誠に欣快に堪えませんおもうに町民各位の協力一致と工事關係者の献身的な作業と各方面の御指導によりまして幾多の難關を克服し茲に開館を見ましたことは誠に感謝に堪えません今後はこの感激を肝銘致し益々教育文化施設を擴充し町内子弟教育の實をあげたいと存じます開館祝賀のよき日に當り公民館建築のため御盡力下さいました各位に厚く御禮申上げると共に所懐の一端を述べ祝辭といたします

昭和二十六年五月二十五日

御挨拶
公民館主事 長谷川榮

只管「愛町の情熱と信念」を以てその職責を全うしたいと存じます

内外地、小、中、高学校教員生活二十四年の幕をとぢ新設湯本町公民館主事を拜命致しました

各位より賜わりました御高恩を感謝しつゝ公民館の運營に基き所謂、地域社会の爲の教育に奉仕させていたゞきます

湯本町役場 町長 松本久吉 助役 内山吉五郎 收入役 中里勝利 外吏員一同

湯本町公安委員會 委員長 服部梅雄 委員 木村進一 委員 木山茂彦

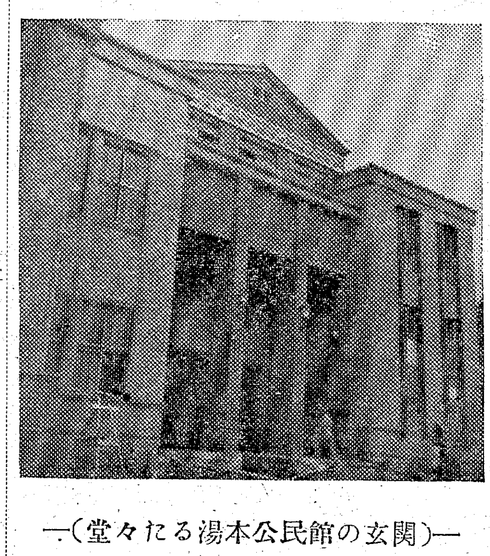
湯本町警察署 署長 菅家徳壽 外署員一同

湯本町小学校 校長 鈴木謙四郎 外職員一同

常磐小學校 職員一同

湯本町中學校 職員一同 電話五四番

湯本町消防團 團長 小井戸庄松 副團長 白石初太郎



―（堂々たる湯本公民館の玄関）―

工事請負人 堀江工業株式會社 專務取締役 長谷川常吉 二瓶武次 現場主任 竹内三司 眞柄金藏

氣電工事請負人 常磐電氣工事K・K・湯本支店 社長 上川誠一 支店長 吉村喜一郎 從業員一同

鈴木建設株式會社 一級建築士 取締役社長 近藤一利 湯本町吹谷五三 電話二三一番

湯本町旅館組合 組合員一同

湯本町藝妓組合 組合員一同

水戸屋精米所 湯本町 電話二八番

湯本町会議員 上野英四郎

湯本町會議員 馬目隆義 湯本町天王崎

湯本町會議員 太田守 湯本町傾城

堂々二本立上映 湯本座 青木安雄 電話一〇三番

呉服類 釣具一式 芳賀商店 湯本驛前通り

鈴木道太郎商店 湯本町天王崎 電話一一四番

湯本町飲食店組合 組合長 松本庫造 組合員一同

湯本町 湯本藥業會

湯本町會議員 本田强 湯本町八仙

常磐炭礦株式會社 湯本町辰ノ口

㊥湯本青果市場 社長 石河傳吉 湯本町關船

全商品ガ新茶ニナリマシタ 岡田園茶舗 電話百十二番

洋裁界のホープ 公認 楠洋裁學院 院長 楠ユキ

セトモノの御用なら 久喜屋へ 湯本局前 電話二七番

建築材。建具材 大谷石 正木屋材木店 電話二二二番

橋本酒店 湯本町天王崎 電話一四五番

鮮魚商 魚浜 湯本町天王崎 電話一一九番

さくら日本號 ギヤエム號 熊田輪店 湯本町上町 電話一四三番

既製服、ズボン 和洋傘、はきもの つるや 湯本町表町

入忠呉服店 電話五〇番

湯本郵便局 局長 土田盛

映畫の殿堂 三函座 白石初太郎 電話一一〇番

洋品・化粧品 相馬屋洋品店 湯本櫻木町 電話一二〇番

雜誌。新刊書籍 文房具 丸一屋書店 電話五一番

洋品・化粧品 丸屋商店 電話七五番

カンバン・塗装 御代看板店 湯本町表町 電話一七四番

結婚披露 各種集會場 夢巣美會館

小口庶民金融 東屋質舗 高子與三郎

味噌・醬油 寺亀 木村重五郎 湯本三函一一九

時計・眼鏡 蓄音器とレコード パイロット セーラー 萬年筆 八矢時計店 電話二五四番

工業用、家庭用 佐藤ミシン商會 湯本町向田四五

ミヤコ美容院 湯本町駅前通り